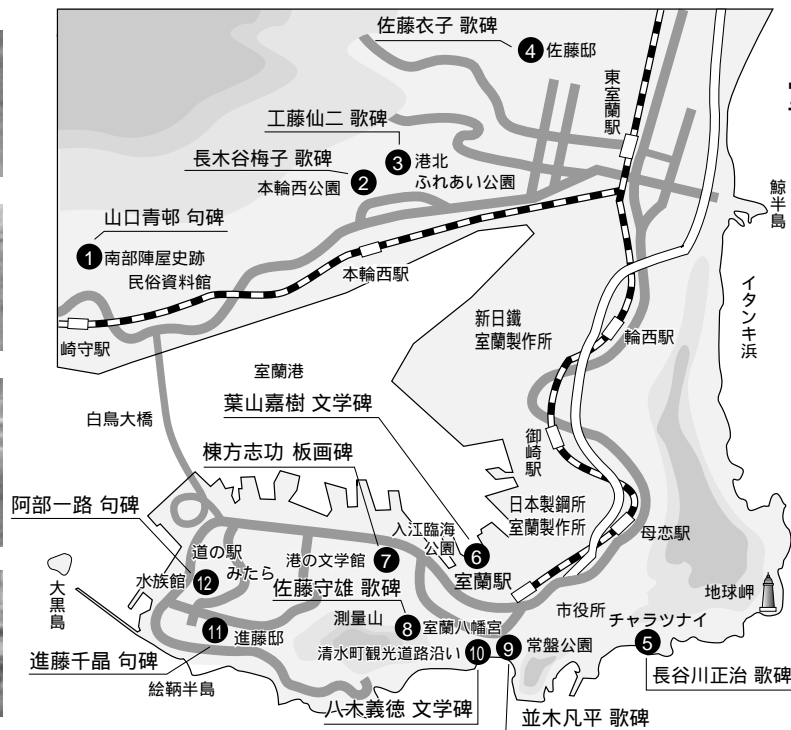


むろらん 市議会だより

発行 / 室蘭市議会
編集 / 広報特別委員会



室蘭の遺産より

室蘭文学の足跡をたどる。



平成14年第1回室蘭市議会定例会

- 2月 26日 本会議（開会、市政方針及び教育行政方針説明、議案説明ほか）
- 3月 4日 同上（追加議案説明、代表質問）
- 5日 同上（代表質問）
- 3月8、11日 同上（質疑・一般質問）
- 12日 同上（同上ほか）
- 3月 13日 常任委員会（総務、経済）
- 14日 同上（民生、建設）
- 3月15、18日 特別委員会（一般会計予算審査）
- 3月19、20日 同上（特別会計予算審査）
- 3月 22日 委員会（議会運営）
- 3月 25日 本会議（各種議案の議決ほか、閉会）

第1回定例会開催

平成14年第1回室蘭市議会定例会が、2月26日から3月25日まで、28日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として平成14年度の一般会計予算をはじめ、特別会計及び企業会計の各予算を中心に、条例改正等を含む議案40件、人事案件2件、議員提出議案として、議案1件意見書案4件について審議・議決しました。

今回の議会から、議会改革の一環として予算・決算審査特別委員会で一問一答方式を取り入れ、白熱した論議が展開されました。

傍聴の方々からは、質問と答弁がより一層明快となり、大変聞きやすいと好評のようでした。

代表質問

市政・創造 21 立野 了子

14年度予算編成について

【問】不良債務等は200億円を下回り、経常収支比率も90%を切ったが行財政改革の取り組みは。

【答】市税の減少、退職手当の増減幅が大きいなど厳しい財政運営が続くが、市民の理解を得ながら行財政改革を進めていく。

市町村合併への取り組みは

【問】平成14年が合併を決める正念場であるが、行政の方向は。



市町村合併を考えるシンポジウム

各会派の代表質問と答弁の中から17項目を取り上げ、要旨を紹介します。

【答】時代背景を的確にとらえ近隣市との話し合いを進め対応する。

未来を築く人づくりについて

【問】医療機関、大学、行政の連携での看護学部設置について。

【答】大学の施設を活用し、高度看護技術者の養成・人づくりをも含め、関係者による研究会での検討を進めて行く。

私立高校支援について

【問】定員の2分の1とした理由、支援時期、その他の考え方は。

【答】定員の半数確保を目標。道教委の公立高校再編計画案が明らかになる頃が一つの判断。私学の地域への貢献は極めて大きい。

新しいものづくりと

伝統工芸支援について

【問】環境産業拠点を新産業づくりに位置づけた考え。実施計画の具体的展開内容。スケジュールと今後の拡大。伝統工芸継承支援は。

【答】産業基盤と物流基盤の優位性を活用。新エネルギー環境産業

等の育成展開、6月調査委員会設立、7月事業選定、戦略計画立案、9月事業化への取り組み、PCB広域処理の候補地への取り組み。伝統工芸の継承育成と支援事業は、静岡市の「クラフトマンサポート事業」も参考に協議していく。

生涯学習について

【問】生涯学習に関して機構改革の考え方については。

【答】企画財政部から教育委員会に移管するが、全庁的体制は堅持。

新 政 会 桜場 政美

中島地区市街地

再開発事業について

【問】地権者合意の見通しと、準備組合の動き及び事業のスケジュールについては。

【答】中島地区市街地再開発準備組合が中心となり検討が進められ、地権者合意についても説明会、個別説明等、さらに、未同意者の意見を聞き要望を助案した施設配置のあり方についても提案し、お願

いしていると伺っている。また、スケジュールについても、合意形成を前提とし、当初予定どおり事業を進めたい。

名誉市民報奨金について

【問】このたび、室蘭市名誉市民

条例中一部改正の件に当たり、条文中、第5条「名誉市民に対しては、次の待遇をするものとする。」同条第2項「前項第3号に定める名誉市民報奨金として、毎年度50万円を支給する。」という内容について、今日の厳しい本市経済及び財政状況を踏まえ、行政改革や予算編成に当たっては、事業総点検に取り組み、金婚夫婦の顕彰式の廃止等から、行政改革に逆行する内容である。市民の生活実態、状況から賛成できかねる状況と考える。条文中の「毎年度」の文章を削除すべきと考えるが見解は。

民主・市民クラブ 水江 一弘

事務事業総点検について

【答】名誉市民報奨金についてはさまざまな考えがあるかと思うが、本市における最高位の栄典制度として、市政の進展や社会文化の興隆に対する長年にわたる卓越した功績に報い、また、引き続き郷土の発展に御貢献いただくなどのために必要な制度として熟慮の上判断したところであり、御理解を賜りたい。

行革プログラム2000は

【問】行革実施計画中、外郭団体の抜本的見直しによる整理、統合の検討の現在までの進捗状況は。

【答】市が50%以上出資する4営利法人のあり方について、統合も視野に入れ検討しており、14年度中に公益法人を含めまとめる。



行政改革を進める室蘭市役所

度中に結論を出す。今回の結果については市民への情報公開を予定しており、また、政策と事業の関連がわかりやすいように各部各課の連携による横断的な手法を取り入れ、取り組んでいく。

室蘭市環境産業拠点形成

戦略構想について

【問】環境産業拠点都市形成に向けた取り組みはものづくりのマチ室蘭の再生のために重要な課題だが、港の活性化にどのような効果が期待されるか。また、環境産業分野における室蘭工業大学の研究状況については。



研究成果が期待される室蘭工業大学

【答】循環資源であるリサイクル原料は道内を主な集荷エリアとしており、これに伴う陸上輸送の増大により原料搬入の帰り貨物として港湾貨物の利用が考えられ、ポ

ートセールスでネットワークとなっており他港との距離差にも対応できるものと期待している。また、室蘭工業大学の研究状況については、廃発泡スチロールのリサイクル、産業廃棄物からの重金属処理など、事業化に結びつくような環境・エネルギー関連の研究テーマが30件ほどあり、今後、産学交流サロンなどの場を通しての情報交換や本市の支援事業の活用などで地元企業による事業化につながるよう連携を図っていく。

日本共産党 常磐井茂樹

公共事業のあり方について

【問】本市の公共事業のあり方と方針を示せ。

【答】現下の厳しい財政状況等により、一層の効率的・効果的な公共事業、透明性のある事業が求められている。今後の事業のあり方として、市民福祉をはじめ安全性、利便性の向上のため、市民ニーズを把握し、市民の理解を得ながら実施していく。

金融問題について

【問】金融機関が破綻した場合の中小企業者に対する資金繰りなどの確保対策は。

【答】国は経済金融の変化に即応し、中小企業者に対する資金供給

のため、政府系金融機関のセーフティネットによる保証・貸付制度の拡充等、さまざまな対応を実施し金融危機の回避に向け政策展開を実施している。さまざまな問題が発生すると思われませんが、国、日銀とが一体となった総合金融対策で難局を乗り越えることを期待している。

敬老荘、特別養護老人ホーム

について

【問】次期、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に、敬老荘の建てかえ、特別養護老人ホームの建設の考えは。

【答】庁内組織の高齢者保健福祉計画策定委員会や、市民組織の介護保険事業計画策定協議会、審議会等の中で、庁内意見や市民意見の聴取を図りながら検討したい。



築30年経過した敬老荘

公明党室蘭市議会 成田 通秋

「にっこにこバス」再発行

行政支援で実現を

【問】昨年より実施している「地域巡回懇談会」において、特に強い要望として「にっこにこバス」の再発行が上がっている。高齢者の積極的な社会参加を促すため購入費の一部助成を図れ。その主たる財源として、風力発電の売電収入による年間約3千500万円を充当する考えは。

【答】バス会社側は、二度の試行結果、採算ベースを割り込み再発行は難しいとしている。これまで行政として、一定額の助成による再発行を協議してきた。会社側は、新しいサービスメニューも含め検討したいとしているので、その結果を見て、風力発電収入の活用など総合的に検討し、市民の要望にこたえたい。

医療ミス、ゼロに向けた

診療体制について

【問】医療改革がなかなか進んで行かない中で、信じられないような医療事故が全国で起きている。病院経営が厳しいため、お金で解決できる部分になかなか投資ができない現状もあると思うが、リスク管理委員会などを設置し、医療

ミス、ゼロに向けた診療体制の対応は。

【答】医療事故の防止については、これまででも事故防止委員会を中心に医療事故の防止に努めている。昨年秋の事故を機に、教育研修担当の医師を置き、全部の職員を対象に研修を実施する。また、来年度から医療専門の弁護士を顧問に迎え、第三者の立場から助言・指導を仰ぐ体制とした。

歴史認識の重要性について

【問】中国・日照市との友好都市締結に向け歴史認識は。

【答】中国との関係については、昭和47年の日中国交正常化の際に明らかになっている。日照市とは、平成8年より交流を始めており、今後、締結を機に相互理解のもと、さらに歴史観を深めていく。



市役所を表敬訪問する中国 日照市の研修生

質疑・一般質問

議員11人の質疑・一般質問と答弁の中から28項目を取り上げ、要旨を紹介します。

新 政 会 大場 博海

窓口サービスの向上と

効率的な行政運営について

【問】福祉、国保、住宅、保育、税など、どこの窓口でも必要な書類を発行し、手続を簡便にせよ。

【答】法の改正により郵便局でも戸籍謄抄本交付事務ができる時代になっており、関係機関部署と協議し、平成16年度の税システムの導入に合わせ改善に取り組みたい。

固定資産税について

【問】平成12年度固定資産税における地価の下落対応を示せ。

【答】不動産鑑定士の評価と、本年度からは、北海道発表の地価調査と連動させて下落修正を行った。

ボランティア活動について

【問】活動が多岐にわたる現在、職員のコーディネート体制は。

【答】社協にコーディネーターが配置されており、市はボランティアアセンダー充実に支援を強める。

民主・市民クラブ 花釜 康之

パソコンネットによる

高齢者の生活相談体制を

【問】高齢者の生活相談体制の充実や介護予防事業・老人保健サービスの推進にパソコンネットの活用・活用の考えは。

【答】総合福祉センターやサービスセンターなどの公共施設にパソコンを設置し、市民と保健師が画面を通して相談ができる「電子相談システム」を14年度に導入するため、現在準備を進めている。

中学校の部活動について

【問】完全学校5日制の実施と部活動の見直し、検討の考えは。

【答】部員の減少や指導者問題で休部、廃部の実態があるが、合同部活動や外部指導者の活用により対応している。実施は学校裁量だが、学校を支援する立場で、国や道の動きを踏まえつつ、各競技団体との連携を図るなど、部活動の支援に向けた取り組みを検討する。

日本共産党 上西 英子

中小学校の統廃合計画の再考を

【問】学校と地域住民、教員と父母が一体となった子育てが重要視されている時、地域の歴史と文化の継承の中心地の小中学校を統廃合すべきでない。各学校別の改修、改築計画を作成すべきではないか。

【答】子供たちにはある程度の集団の中で学び合える環境を整えてあげることは重要。今後PTAと意見交換しながら、学校改修、改築計画など、全市的な視点での学校施設整備の計画化を図り、小中学校適正配置のあり方をまとめる。

石川町地域交流施設など

総振興費は8億円：公平性は

【問】地域交流施設（石川町会館）建設費1億円。維持管理費も市が全額負担。市民は納得できない。広域連合にも負担を求められないか。

【答】法では「設置者が施設周辺の生活環境を保全する」。施設は行政財産になるので市が負担する。

市政・創造 21 我妻 静夫

街路灯の維持管理の新方策は

【問】町会等の負担軽減策は。

【答】風力発電の売電収入等の活用で新たな財源確保を検討したい。

救急救命士体制の強化について

【問】市民の生命・身体を守る救急救命士の体制強化計画は。

【答】医療機関の協力のもと、医師と救命士が互いに顔の見える信頼関係を築く等メディカルコントロール体制の構築に努める。

新市民会館の運営等について

【問】新市民会館の運営方法等は。

【答】新市民会館は、従来の教育委員会直営を民間委託による施設運営とし、愛称募集は本年7月1日開館に間に合うよう取り組む。

冬季スポーツ施設について

【問】冬季スポーツ施設必要性は。

【答】屋内リンク、遊休倉庫など既存施設の活用をも含め検討する。

市政・創造 21 山川 明

フェリーの、大洗航路

休止について

【問】大洗航路は本港フェリー貨物の約40%を占める重要航路、本市にとって大きな打撃である。大洗航路休止に対する今後の対応は。

【答】船会社には、航路休止の見直しをお願いと、北海道には航路存続への支援等の要請を行った。今後とも航路存続の取り組みと、フェリー利用拡大に関係業界と共

に努力していく。



存続が望まれる大洗航路

学校教育と

「ものづくり」について

【問】「ものづくりのまち」として、学校教育の中に、ものづくりについて生かしていくことが、重要と考えるが、教育長の見解は。

【答】子供たちに直接的な体験が不足している昨今、ものづくりをテーマに据えた教育は有効である。今後、ものづくりの視点からの教育について、研究を深めていく。

民主・市民クラブ 佐藤 潤

「リサイクル文化都市」

の宣言を

【問】廃食用油、生ごみ、枝葉、使用済封書等のリサイクル、また、企業のリサイクル事業への支援策、そして環境にやさしいリサイクル文化都市の宣言をすべきでは。

【答】廃食用油等のリサイクルへの取り組みは調査、研究が必要であ

り今後の課題である。都市宣言は、循環型社会形成に向けて各種施策の計画実行の段階で研究したい。

景気と雇用創出について

【問】構造改革後の景気回復は。国の交付金事業の雇用数は。高校生で就職未定者を採用する企業への助成金交付は。ワークシェアリングによる効果は。

【答】不透明であるが長引くとの厳しい見通し。28名程度。国の制度がありPRしたい。ワークシェアリングは、パソコン操作や接遇研修等があり就職につながる。

公明党室蘭市議会 細川 昭広

市営住宅改善について

【問】高齢者や障害者の住みかえ等を促進する上から、居住改善時に、エレベーターの設置の考えは。

【答】住宅改善事業においては、3階建て以上については、原則的にエレベーターを設置の予定。

消防行政について

【問】火災被害者への見舞金を、他都市とも比較し、早急に改善する考えは。

【答】現行の災害見舞金は、昭和56年度に定められ、他都市との比較では下位であり、支給要件、対象の見直しに合わせ、検討する。

子育て支援について

【問】保育所の休日保育を実施する考えは。

【答】休日保育については、保育ニーズを分析するとともに、諸課題の整理を行いながら、検討する。



子育て支援が期待される保育所

市政・創造 21 沼田 俊治

市立病院の経営について

【問】市立病院の経営健全化に向けた中期試算の策定の考えは。

【答】14年度の決算見通しをベースに普通会計と同時期の9月をめぐりに策定し健全化に向け努力していきたい。

胆振合同庁舎のPFI導入は

【問】胆振合同庁舎の改築に向け、道との連携とPFI導入の検討は。

【答】入江地区のまちづくりの観点を含めPFIの導入がどのような方式で可能か道の考え方と調整

を図りながら年度内にまとめる。

マイスター制度の導入について

【問】マイスター制度を導入し技術の継承・人材育成を図っては。

【答】「ものづくりのマチ」として培われてきた熟練技能の活用や伝統工芸の普及と人づくりが重要。他都市の事例を参考に支援方策などについて検討していきたい。

日本共産党 嶋田 サツキ

高齢者福祉の

「配食サービスについて」

【問】配食サービスは希望者が多く、拡大計画があるが、現在の委託先、配食数は。また、申請方法と介護認定の必要性については。

【答】1月現在、昼食109人、夕食131人の利用があり、昼食はエンルムハイツ、夕食は(株)北海道厚産の生きがいセンターほこいに委託している。申請は在宅支援センターを通し、介護の認定は必要ない。

少子化対策と育児支援について

【問】室蘭市の出生率は1・29人と全国を下回っている。安心して産み育てられる子育て支援策として乳幼児医療費助成を拡大し、小学校就学前まで無料にする考えは。

【答】1歳助成拡大に2千万円程度の費用が予測されるが本市は重度、

母子、乳幼児の3事業に所得制限を導入しておらず、本市単独で助成拡大は非常に難しいと考える。

新 政 会 徳中 嗣史

防災フロートについて

【問】防災フロートの14年度予算内訳と運営に要する負担は。

【答】フロート本体4億5百万円、管理運用調査費2千4百万円也。

【問】運営、整備に関する国や道への支援要請の現状は。

【答】機会あることに支援要請をしており、道には14年度の建設費負担の補助採択をお願いしている。

【問】他市町村との運営に関する交渉状況は進んでいるのか。

【答】噴火湾市町村などの防災担当約25人からなる管理運用検討委員会をつくり検討する。

市営住宅の応募について

【問】抽せん方法の改善と、応募時の提出書類の簡素化や応募費用負担の減少を図れないか。

【答】落選回数による優先入居は、公募方法等を検討する。今後落選者に次回に活用できる書類は返却し再利用が図られるよう検討する。

新 政 会 大友 勇

学校週5日制への不安対策

【問】学力低下や不登校対策など、多くの課題が提起されているが。

【答】家庭や地域に新要領の趣旨を再度徹底し、不登校への対応など新たに実践的な研究を進める。



学校生活を楽しむ子供たち

高齢者に潤いのあるまちづくり

【問】室蘭の地で頑張ってきた皆さんに安心して楽しい人生を送れるよう、文化的公共施設の整備や、高齢者ニーズに合ったまちづくりを積極的に進めるべきでは。

【答】福祉をはじめ、充実した時間を過ごせるように、施設整備や身近な公園等の再生を図る。


修学旅行のフェリー活用

【問】修学旅行にフェリーを活用した船旅体験と地元企業育成を提言してきたが、大洗航路が休止になるなど、地場活の努力がないが。

【答】郷土理解を深める学校行事を大所高所から検討する。

平成14年第1回臨時会議決結果 会期:平成14年2月15日(金)(1日)

番号	件名	議決結果
議案第1号	平成13年度室蘭市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第2号	平成13年度室蘭市土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	"



伝えたい話
知りたい話

委員会で審査や調査する事項って何? パート2

本市議会では、先の「広報むろらん4月号」に掲載された年度の当初予算や年度中の補正予算と前年度の決算に対し議員定数の約半数からなる特別委員会をその都度設置し、審査を行っております。

特別委員会として

予算審査特別委員会

- ・年度の当初予算(3月の定例会中)
- ・年度中の補正予算(1年を通じ必要に応じて)

決算審査特別委員会

- ・企業会計(9月の定例会中)
- ・一般・特別会計(11月に閉会中継続審査で)

【表紙写真】

港街として栄え、北海道を代表する鉄鋼都市として知られた室蘭には、多くの著名な文学者が訪れ、その作品の中で港街ならではの風情を描いています。既に全国で話題になっているように3人目の芥川賞受賞作家、長嶋有氏の誕生で室蘭の文学的風土の豊かさが再認識されたところです。

今回は、文学的遺産として市内12ヶ所に点在している文学碑を御紹介いたします。中には「こんな所に?」と思う場所にひっそりと建立されている碑もあり、ゴールデンウィークの1日を文学碑めぐりなどに利用されてはいかがでしょうか?

編集後記

開港130年・市制施行80年の記念すべき年度を迎える本年の市政方針・教育行政方針、そして新年度予算に対する各議員の議論が長時間にわたる密な攻防となり、このボリュームのある内容を6ページにまとめ上げるのに多少の苦労はありました。

なお、会議録は下記により公開しております。(山中)

議会会議録が室蘭市ホームページに記載。

アドレス <http://www.city.muroran.hokkaido.jp/>
6月より上記アドレスで議会中継を実施。

平成14年第1回定例会議決結果 会期:平成14年2月26日(火)~3月25日(月)(28日間)

番号	件名	議決結果
議案第1号	平成14年度室蘭市一般会計予算	原案可決
議案第2号	平成14年度室蘭市国民健康保険特別会計予算	"
議案第3号	平成14年度室蘭市土地区画整理特別会計予算	"
議案第4号	平成14年度室蘭市住宅事業特別会計予算	"
議案第5号	平成14年度室蘭市老人保健特別会計予算	"
議案第6号	平成14年度室蘭市介護保険特別会計予算	"
議案第7号	平成14年度室蘭市水道事業会計予算	"
議案第8号	平成14年度室蘭市工業用水道事業会計予算	"
議案第9号	平成14年度室蘭市病院事業会計予算	"
議案第10号	平成14年度室蘭市中央卸売市場事業会計予算	"
議案第11号	平成14年度室蘭市白鳥台開発事業会計予算	"
議案第12号	平成14年度室蘭市港湾整備事業会計予算	"
議案第13号	平成14年度室蘭市下水道事業会計予算	"
議案第14号	室蘭市名誉市民条例中一部改正の件	" (訂正承認)
議案第15号	室蘭市公益法人等への職員の派遣等に関する条例制定の件	"
議案第16号	室蘭市事務分掌条例中一部改正の件	"
議案第17号	室蘭市職員の育児休業等に関する条例及び室蘭市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例中一部改正の件	"
議案第18号	室蘭市職員の勤務時間、休暇等に関する条例中一部改正の件	"
議案第19号	室蘭市職員の特殊勤務手当に関する条例中一部改正の件	"
議案第20号	室蘭市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例制定の件	"
議案第21号	室蘭市体育施設条例中一部改正の件	"
議案第22号	室蘭市市民会館条例中一部改正の件	"
議案第23号	室蘭市文化センター条例中一部改正の件	"
議案第24号	室蘭市公設小売市場条例廃止の件	"
議案第25号	室蘭市国民健康保険条例中一部改正の件	"
議案第26号	室蘭市印鑑の登録及び証明に関する条例中一部改正の件	"
議案第27号	室蘭市医療技術者奨学資金貸付条例及び市立室蘭看護専門学校条例中一部改正の件	"
議案第28号	室蘭市消防団員の報酬及び費用弁償に関する条例中一部改正の件	"
議案第29号	室蘭市火災予防条例中一部改正の件	"
議案第30号	室蘭市手数料条例中一部改正の件	"
議案第31号	室蘭市営住宅条例中一部改正の件	"
議案第32号	市道路線認定及び変更の件	"
議案第33号	訴えの提起の件	"
議案第34号	平成13年度室蘭市一般会計補正予算(第8号)	"
議案第35号	平成13年度室蘭市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	"
議案第36号	平成13年度室蘭市土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	"
議案第37号	平成13年度室蘭市住宅事業特別会計補正予算(第2号)	"
議案第38号	平成13年度室蘭市老人保健特別会計補正予算(第1号)	"
議案第39号	平成13年度室蘭市介護保険特別会計補正予算(第2号)	"
議案第40号	平成13年度室蘭市病院事業会計補正予算(第2号)	"
議案第41号	固定資産評価員の選任について同意を求める件	同意
議案第42号	室蘭市議会議員定数条例制定の件	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者推薦の件	承認
意見書案第1号	中小企業に対する金融政策の充実を求める意見書	原案可決
意見書案第2号	地域雇用対策の拡充を求める意見書	"
意見書案第3号	小児救急医療制度の充実・強化を求める意見書	"
意見書案第4号	食品表示制度の改善・強化を求める意見書	"